

赤十字救急法等講習実施要領

1. 目的

この要領は、日本赤十字社山形県支部(以下「支部」という)が実施する講習のほかに、救命手当や応急手当等の技術を習得することを目的として、広く県民が講習会を開催する際の手続き等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

2. 講習の種類

講習は、次のとおりとし、別紙の区分により実施する。

- | | |
|--------------|----------------------------|
| (1) 救急法 | 急病人に対する救命手当とけが人に対する応急手当の仕方 |
| (2) 水上安全法 | 水の事故にあった人の救助と手当の仕方 |
| (3) 雪上安全法 | スキー場でのけが人に対する手当の仕方 |
| (4) 健康生活支援講習 | すこやかな高齢期を過ごすための知識と技術 |
| (5) 幼児安全法 | 乳幼児の急病とけがに対する手当の仕方 |

3. 講習の実施

講習は、営利を目的とするものを除き、事業所、学校及び団体等が主催し、申込を行うことができる。

4. 申込と決定

- (1) 講習実施の申込は、別紙様式により、市町村地区・分区又は支部あて提出するものとする。
- (2) 申込は、原則として実施予定期日の1ヵ月前までに行うものとする。
- (3) 支部は、日程及び指導員の派遣等について決定し、通知するものとする。

5. 経費

講習の必要経費は別紙のとおりとし、指導員の派遣に係る経費は支部が負担するものとする。

ただし、次のものについては、申込者の負担とする。

- (1) 日本赤十字社への委託等により実施する講習
- (2) 講習資材の搬送に要する経費
- (3) その他協議による経費

附則

この要領は、平成15年4月1日から施行する。

平成18年4月1日一部改正。

平成19年4月1日一部改正。

平成21年4月1日一部改正。

平成26年4月1日一部改正。

講習の種類と内容

講習名	区分	時間	学科内容	実技内容	経費
救急法	基礎講習	4時間	・手当の基本 ・一次救命処置 心肺蘇生、AEDを用いた除細動 気道異物除去	・傷病者の取り扱い ・一次救命処置 心肺蘇生、AEDを用いた除細動 気道異物除去	1,500円
	養成講習 (救急員)	12時間	・急病 ・けがの手当 きずの手当、骨折の手当 ・搬送 ・救護	・止血法 ・包帯法 ・固定法 ・搬送	1,700円
	短期講習	2時間 程度	基礎講習及び救急員養成講習の内容の一部		無料
水上 安全法	養成講習 (救助員Ⅰ)	14時間	・水の事故防止 ・泳ぎの基本と自己保全 ・事故者の救助 ・応急手当	・泳ぎの基本 ・救助(泳いで救助する方法) ・応急手当 水中で行う応急手当 陸上で行う応急手当	700円
	養成講習 (救助員Ⅱ)	12時間	・海、河川及び湖沼での事故防止	・救助 海、河川などでの救助の方法	300円
	短期講習	2時間 程度	救助員Ⅰ養成講習及び救助員Ⅱ養成講習の内容の一部		無料
雪上 安全法	養成講習 (救助員Ⅰ)	7時間	・冬山の環境 ・けが ・赤十字スキーパトロール ・スキーパトロールに必要な技術 ・雪上におけるロープ操作	・雪上におけるロープ操作 ・止血法 ・包帯法 ・固定法 ・搬送	700円
	養成講習 (救助員Ⅱ)	12時間		・スキーパトロールに必要な技術	300円
	短期講習	2時間 程度	救助員Ⅰ養成講習及び救助員Ⅱ養成講習の内容の一部		無料
健康 生活 支援 講習	養成講習 (支援員)	12時間	・高齢者の健康と安全のために ・地域における高齢者支援に役立つ知識 ・自立をめざした介護にあたって	・高齢者に起こりやすい事故の予防と手当 ・レクリエーション、リラクゼーション ・日常生活の具体的な介護の技術	900円
	短期講習	2時間 程度	支援員養成講習の内容の一部		無料
幼児 安全法	養成講習 (支援員)	12時間	・こどもの成長と発達について ・こどもに起きやすい事故について ・こどもの病気と看護について	・こどもに起きやすい事故への対応 (包帯法、心肺蘇生)	1,800円
	短期講習	2時間 程度	支援員養成講習の内容の一部		無料

講習名	区分	時間	受講要件	取得できる資格	経費
資格継続研修		4時間	・救急員等有資格者 ・資格有効期限が1年未満	・救急員等の資格有効期限を3ヵ年延長	800円

※ 健康生活支援講習 資格継続研修のみ 400円

○救急法基礎講習並びに各養成講習では受講証を交付し、さらに検定合格者には資格を付与します。
付与する資格

救急法	基礎講習	救急法基礎講習修了者
	救急員養成講習	救急法救急員
水上安全法	救助員Ⅰ養成講習	水上安全法救助員Ⅰ
	救助員Ⅱ養成講習	水上安全法救助員Ⅱ
雪上安全法	救助員Ⅰ養成講習	雪上安全法救助員Ⅰ
	救助員Ⅱ養成講習	雪上安全法救助員Ⅱ
健康生活支援講習支援員養成講習		健康生活支援講習支援員
幼児安全法支援員養成講習		幼児安全法支援員

- 救急法並びに水上安全法の各養成講習は、救急法基礎講習との同時開催ができます。
○各養成講習の時間は、休憩並びに検定等に要する時間を含まない実講習時間です。
○各講習とも、受講要件は「年齢が満15歳以上」です。ただし、救急法、水上安全法並びに雪上安全法の養成講習では別の要件があります。(注1)
○経費は、教材代などの実費です。(注2)

注1:救急法、水上安全法並びに雪上安全法養成講習の受講要件

救急法救急員養成講習		・救急法基礎講習修了者
水上安全法	救助員Ⅰ養成講習	<ul style="list-style-type: none"> ・救急法基礎講習修了者 ・一定の泳力がある <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> 【一定の泳力】 クロール及び平泳ぎでそれぞれ100m以上 クロール又は平泳ぎで500m以上 横泳ぎ25m以上 立ち泳ぎで3分以上 潜行で15m以上 1m以上の高さからの飛込みができる </div>
	救助員Ⅱ養成講習	・水上安全法救助員Ⅰの有資格者
雪上安全法	救助員Ⅰ養成講習	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢が満18歳以上の救急法救急員の有資格者 ・一定のスキー技術がある <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> 【一定のスキー技術】 財団法人日本スキー連盟の技能判定テスト2級相当の技術 </div>
	救助員Ⅱ養成講習	<ul style="list-style-type: none"> ・雪上安全法救助員Ⅰの有資格者で相当のスキー技術を有する <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> 【相当のスキー技術】 財団法人日本スキー連盟の技能判定テスト1級相当の技術 </div>

注2:経費内訳

<ul style="list-style-type: none"> ・講習教本(日本赤十字社発行) ・教材 		
救急法	基礎講習	一方向弁付呼吸拭き込み用具
	救急員養成講習	救急法教材セット(三角巾、ガーゼ)
水上安全法講習		ロープ(別途頒布)
雪上安全法講習		ロープ(別途頒布)
幼児安全法講習		一方向弁付呼吸拭き込み用具・呼吸吹き込みシート
<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品 		
<ul style="list-style-type: none"> 【救急法基礎講習、幼児安全法講習】 心肺蘇生練習用人形消耗品(ディスプレイ肺) アルコール脱脂綿 AEDトレーナー電極パッド 		
<ul style="list-style-type: none"> 【水上安全法、雪上安全法、健康生活支援講習】 毛布、タオル、シーツ等クリーニング代 		
<ul style="list-style-type: none"> ・保険料 受講期間中(講習会場までの往復途上を含む)の受講者を対象 		

なお、講習教本は、短期講習受講者並びに講習を受講しない希望者にも頒布します。

救急法基礎講習教本	309 円
救急法講習教本	514 円
水上安全法講習教本	514 円
雪上安全法講習教本	514 円
健康生活支援講習教本	514 円
乳幼児の一次救命処置	309 円
幼児安全法講習教本	514 円

年 月 日

日本赤十字社山形県支部長 様

[申込者(団体)名]

[代表者名]

印

赤十字救急法等講習実施申込書

赤十字救急法等講習の実施について、次のとおり申込みます。

希望する講習と内容	講習名	区分	具体的な希望内容				
	・ 救急法	・ 基礎 ・ 養成 ・ 短期	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>				
・ 水上安全法 ・ 雪上安全法 ・ 健康生活支援講習 ・ 幼児安全法	・ 養成 ・ 短期						
<small>※①希望する講習名、区分に○印を付けてください ②短期講習の内容は、各養成講習の内容で1つのテーマとします</small>							
実施希望日時	平成 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分	受講 対象者					
	平成 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分						
	平成 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分						
	平成 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分						
		受講 人数	名				
講習会場	名称	住所	(〒 —)				
			TEL	— —			
講習実施申込者・団体	名称						
	住所	(〒 —)			担当者	職名	
						氏名	
		TEL	— —			備考	
		FAX	— —				
E-mail							

※①各講習の養成講習の実施を希望する場合には、「実施希望日時」に所定の時間の外に、休憩並びに検定に要する時間(3時間程度)を含んだ時間を設定願います。

②記載いただく事項で個人情報に関わるものは、講習実施に係る諸連絡のみに使用します。